

新規就農者の会、発足！

市では、この3年間で7人の新規就農者が誕生しています。今後も増加の傾向にあると考え、就農者間の情報共有や販路の拡大による経営発展を狙い、新規就農者の組織化を行いました。3月に開かれた会議には市長も激励に訪れ、「羽曳野に根を下ろして、大きな花を咲かせて欲しい。」と、就農者1人ひとりと言葉を交わしました。新規就農者は農地、施設、機械がないなどの苦労が多いため、今後も関係機関と連携を図りながら、支援に取り組んでまいります。



生命の尊さを感じる

「人権の花」運動（主催：人権啓発活動堺・南大阪地域ネットワーク協議会）を実施した西浦小学校と高鷲北小学校に、感謝状と記念品が贈呈されました。この運動は、チューリップの球根を育て開花させる過程で、生命の尊さを感じ、より豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として行われています。



▶高鷲北小学校



▶西浦小学校

安全で安心な生活を支える

3月13日(日)、市消防団植生第2分団に配備された「救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車」の入魂式が、分団車庫前で行われました。この車両は、消防庁からの無償貸付が決定したもので、救助活動に必要な機材（可搬式消防ポンプ、エンジンカッター、油圧ジャッキ、投光器、AEDなど）が装備されており、火災以外の各種災害現場でも活躍が期待されています。



世界最速への一步

羽曳野出身で現在16歳のレーシングドライバー、^{さかべ せな}阪口晴南選手が、市役所を訪問されました。レース一家に生まれ、幼少期よりレーシングカートで活躍。15歳の時に、ドライバー育成学校「鈴鹿サーキット・レーシングスクール・フォーミュラ」に入校、今年の卒業レースを制し、主席・最年少で卒業されました。名前の「^{せな}晴南」の由来は、『アイルトン・セナのような愛されるドライバーになって欲しい』との家族の想いから。今期からは、ホンダの育成ドライバーとして、国内フォーミュラカーレースに参戦。「チャンピオンを狙います」と語る阪口選手、最速の一步を踏み出されました。4月4日、市役所にて▶



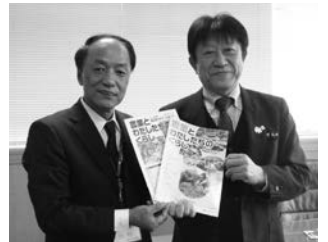
知っておきたい！生活の知識。

3月22日(火)の消費者セミナーは、司法書士を招き、消費者被害の未然防止と被害拡大を防ぐための対応策などについて話していただきました。悪質商法への対応の仕方や、成年後見制度・遺言の書き方など、参加者からは「今後の役に立ちそう、勉強になった。」と好評でした。



「育てる」ことから学ぼう

JA大阪南農協より、市内の小学校に高学年向け教材「農業とわたしたちの暮らし」が寄贈されました。この活動は「JAバンク食農教育応援事業」の一環として行われています。子どもたちに、「食」を支える根本である「農業」の知識を深めてもらうため、とイラストや写真などでわかりやすく作成されたものです。



人権の尊さ 平和の尊さを伝えたい

峰塚中3年の上西杏佳さんが、第34回人権啓発詩・読書感想文コンテスト（主催：大阪府・大阪府教育委員会・人権啓発推進大阪協議会）にて、読書感想文（中学校の部）で、応募総数848作品の中から見事入賞！喜びの報告に市役所を訪れてくださいました。（図書名『跳びはねる思考会話のできない自閉症の僕が考えていること』東田直樹著）



ピカピカの1年生～充実した学校生活を願って～

今年も、羽曳野JC（一般社団法人羽曳野青年会議所）から、市内の小学1年生に贈られた「愛の鈴」。初めての“学校”生活がスタートした新入生に、登下校時の交通安全や、新しい友達との仲が深まることを願って作られたランドセル型のキーホルダーです。新入生のみなさんに、多くの学びが訪れますように。



加藤騎手！苦難を乗り越え

2月20日(土)に、小倉競馬7Rで負傷した加藤祥太騎手（JRA）が、リハビリの合間を縫い、市長室を訪ねてくれました。4月中の復帰に向けて調整していますと話されました。（4月9日に復帰し、翌日に福島競馬場で開催された特別レースで勝利されました。）



▲3月28日、市役所にて

春満開！河内源氏発祥の地

4月3日(日)、桜満開の通法寺跡（国の史跡地）で軽トラ市が行われ、約900人がうららかな春の休日を満喫しました。会場では地元町会による源氏鍋がふるまわれました。また、大正琴の演奏や四天王寺大学の茶道部がお茶席を設けるなど、春一色のイベントとなりました。



年に一度の街道まつり

3月13日(日)、LICはびきので開催した「竹内街道・横大路（大道）まつり」には、大阪府・奈良県の9市町村が集結し、各自治体のご当地キャラクターも勢ぞろい！街道沿線の地域特産品やキャラクターグッズなど、目移りする品揃えでした。ホールではダンスパフォーマンスや、映画「あしたになれば。」の上映など、また世界遺産PR関連では、百舌鳥・古市古墳群のプロモーション映像の上映、勾玉づくりや埴輪パズルなど体験コーナーが充実。子どもから大人まで約900人が、街道の魅力を堪能しました。



人と人、道と道。広がり、つながる

3月31日(木)、市道東大塚美陵線と松原市域の市道新堂南線の開通を記念し、式典を行いました。開催場所の同道路上は、両市の関係者や新しい道路を一目見ようと訪れた市民など、多くの方で賑わい、最後に全員でウォーキング、新しい道の感触を確かめました。同道路の開通により、利便性の向上、更に防災機能の改善へとつながるなど、より快適な生活環境へと一歩前進しました。


【道路延長約60m、幅員12m（両側に歩道）、総延長約910m（既供用区間を含む）】





にしむら せんり
西村 千凛ちゃん
平成27年8月27日生まれ
母親の里美さん 撮影

＜羽曳が丘西＞
いつも笑顔で、元気にスクスク育ってね！！



おくの ゆうと
奥野 友斗ちゃん
平成28年2月23日生まれ
母親の由佳さん 撮影

＜碓井＞
日々成長していく姿がたくましいです。
元気で優しい子に育ってね。



たむら ひさと
田村 寿人ちゃん
平成27年11月27日生まれ
母親の涼香さん 撮影

＜誉田＞
パパそっくり！
生後3ヶ月7kg 超の大きな男の子です！

こんにちはあかちゃん